

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公開番号】特開2014-237718(P2014-237718A)

【公開日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2014-181635(P2014-181635)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/728 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/728

A 6 1 K 31/167

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月12日(2015.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1,4-ブタンジオールジグリシジルエーテル、1,2-ビス(2,3-エポキシプロポキシ)エチレンおよび1-(2,3-エポキシプロピル)-2,3-エポキシシクロヘキサンならびにそれらの組み合わせからなる群から選択される少なくとも1種類の架橋剤により架橋されたヒアルロン酸成分を準備する工程(当該ヒアルロン酸成分の弾性係数は60~450Paである)；

このヒアルロン酸成分のpHを調節する工程；および

このヒアルロン酸成分にリドカインHClを添加して、軟部組織充填剤組成物を得る工程

を含む、軟部組織充填剤組成物の製造方法。

【請求項2】

さらに、リドカインHClの添加の間または後にヒアルロン酸成分をホモジナイズする工程を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

ホモジナイズする工程が、制御された剪断を用いて組成物に混練を施すことを含む、請求項1記載の方法。

【請求項4】

ヒアルロン酸成分を準備する工程が、乾燥した非架橋ヒアルロン酸ナトリウム物質を準備し、この乾燥した非架橋ヒアルロン酸ナトリウム物質をアルカリ性溶液で水和して、アルカリ性の非架橋ヒアルロン酸ナトリウムゲルを得ることを含む、請求項1記載の方法。

【請求項5】

アルカリ性の非架橋ヒアルロン酸ナトリウムゲルが8.0を超えるpHを有する、請求項4記載の方法。

## 【請求項 6】

アルカリ性の非架橋ヒアルロン酸ナトリウムゲルが10を超えるpHを有する、請求項5記載の方法。